

学生時代の作品から道展受賞時期、そして近年の猫を中心とした作品など、谷地元麗子の約20年の軌跡をご紹介します。  
40歳を迎えた2021年、画家として何たるか模索を続け、一つの迷いは消えた気がしています。愛猫の存在が一つのきっかけです。そして今このような未曾有の時代でも、これまで制作を続けて来れたのは、その都度その都度様々な方に支えられていたからなのだと感じてなりません。いま、身近な存在と、他愛もない当たり前の日常が愛おしく思います。このような時期だから尚更そう感じるのかも知れませんが、歳月とともに大切に思います。  
私の過去～現在進行形を垣間見て頂ければ幸いです。



### 蝦夷猫シリーズ

近年描く「蝦夷猫」は、北海道で暮らす人達と関わる、いわゆる普通の猫の事です。そのような種類の猫はいませんから、普遍的な総称としての私の造語です。私は、猫と暮らす日常の元、私なりの猫を描いていくうちに、「北海道の猫」=「蝦夷猫」を描く事が自分のスタンダードになってきたように思います。



## 谷地元麗子

Yachimoto Reiko

- 1980 北海道江別市生まれ
- 2002 北海道教育大学札幌校 卒業
- 2003 北海道教育大学札幌校研究生 修了
- 現在 道展会員



unahime@gmail.com  
https://ezonekosya.net

### 【グループ展】

- 1999-2019 「北の日本画展」札幌時計台ギャラリー他/「第15～30周年」の各記念展に出品/北海道立近代美術館/北海道/5年間、会の事務局を務め、周年記念事業に関わる。
- 2003-2019 「サッポロ未来展」札幌時計台ギャラリー他/北海道(03～'14札幌、08苫田市民芸術村、ギャラリー、'11北海道立近代美術館、'12小樽市美術館、'13ノボニビルスク/ロシア、'14青森県立美術館、'15サハリン州立美術館/ロシア、'16赤れんが庁舎、'17滝川市美術館自然史館、'19札幌市民交流プラザ)
- 2016 「伝統を受け継ぐ現代日本の美術-北海道への発信」ルセギャラリー/ブルガリア在ブルガリア日本国大使館主催第27回ブルガリア日本文化月間にて。
- 2018-2019 「北の猫たも展」札幌PARCO/北海道  
「明日を創る作家たち-Decemberコレクション」大丸札幌店8階美術館展/北海道
- 2019 「北海道美術展」大丸札幌店8階美術館展/北海道
- 2020 「サッポロ未来展」大丸札幌店8階美術館展/北海道  
「第7回展覧コレクション」さっぽろ東急百貨店9階第3会場/北海道
- 2021 「ふたり猫」道展幸恵・谷地元麗子二人展/大丸札幌店8階美術館展/北海道

### 【個展】

- 2004-21 「ねこまつり」「猫まみれ」「猫づくし」「第三妹」「猫連珠」「猫結び」「猫遊び」「猫祭り」「第五色月」北海道内の各ギャラリーにて開催

### 【公募展】

- 1998-19 「道展」札幌市民ギャラリー/北海道

### 【受賞】

- 2003-15 「道展」03新人賞、04佳作賞、06会友賞、14会友賞、15会員権手
- 2013 「第12回サッポロ未来展」第四回あらまき賞
- 2015 「第14回サッポロ未来展 in Sakhalin」サハリン州立美術館 副賞賞  
「第14回サッポロ未来展 in Sakhalin」文化大賞奨励賞/サハリン州政府文化賞

### 【収蔵・設置】

- 2012 天井画制作 全48枚監修/聖観山 開原寺/美深町
- 2017 札幌市児童福祉総合センター/札幌市

